

『懷徳』 総目次(51号～)

51号(昭和57[1982]年12月、懷徳堂記念会)

- ・ 〈口絵〉中井蕉園墨跡「雨中再遊千株谷」(逆瀬氏蔵)
- ・ 〈口絵〉「新造学校観光院図」(逆瀬氏蔵)
- ・ 巻頭言・懷徳堂記念事業の新たな発展を期して(堀田庄三)
- ・ 〈連載〉懷徳堂物語(一)(加地伸行)
- ・ 難波宮の歴史と天皇(長山泰孝)
- ・ 抹茶の起源(布目潮風)
- ・ 昭和57年懷徳堂講座講演要旨
 - 春季=脇田修・今井修平・信田純一・黒田俊雄・梅溪昇
 - 秋季=日原利国・橋本高勝・芝田稔・吉田恵・阿頼耶順宏
- ・ 〈資料紹介〉新出の新造学校観光院図について(梅溪昇)
- ・ 〈資料紹介〉逆瀬氏秘蔵先儒墨跡(木村英一)
- ・ 追悼文 恩師 木村英一先生(宮内徳雄)
- ・ 彙報

52号(昭和58[1983]年12月、懷徳堂記念会)

- ・ 〈口絵〉三宅春楼書「丙申寿巻」題字
- ・ 〈口絵〉中井竹山書「送頼君千秋帰省啓尊人七秩寿筵序」
- ・ 〈口絵〉三宅春楼書「閑園善幽姿」
- ・ 懷徳堂に憶う(堀田庄三)
- ・ 懷徳堂文庫にたたずんで(片山良展)
- ・ 〈連載〉懷徳堂物語(二)(加地伸行)
- ・ 懷徳風雅—竹山の古体四言詩—(水田紀久)
- ・ 頼春水在坂時代の中井竹山との交遊(頼祺一)
- ・ 〈新資料〉中井家資料(旧新田文庫)
- ・ 尾形光琳と大坂(河野元昭)
- ・ 御所ことばについて(堀井令以知)
- ・ 上方の地名(鏡味明克)
- ・ 昭和58年懷徳堂講座講演要旨
 - 春季=武田恒夫・河野元昭・佐々木丞平・橋本綾子・成瀬不二雄・金沢弘
 - 秋季=和田実・堀井令以知・寿岳章子・徳川宗賢・鏡味明克・佐藤亮一

- 〈資料報告〉中井履軒手稿『弁妄』（小堀一正・山中浩之）
- 懐徳堂関係研究文献提要（一）（1～3）
- 懐徳堂堂友会 懐徳堂・友の会 声明
- 彙報

53号(昭和59[1984]年12月、懐徳堂記念会)

- 〈口絵〉中井履軒「華胥国門額」
- 〈口絵〉「整庵先生母堂書簡」（一部）
- 〈口絵〉「排仙群会図」（財団法人柿衛文庫蔵）
- 小人所懐（黒田俊雄）
- 〈連載〉懐徳堂物語（三）（山中浩之）
- 『古今通』の刪補について（多治比郁夫）
- 俣野玉川の活動と中井竹山（竹下喜久男）
- 懐徳堂認識論と十八世紀における批判的ヴィジョンの創造（テツオ・ナジタ）
- 与謝蕪村（佐々木丞平）
- 諸葛孔明—政治家として—（狩野直喜）
- 昭和59年懐徳堂講座講演要旨
 - 春季=片桐洋一・伊井春樹・伊藤敏子・小林忠・伊藤正義・島津忠夫
 - 秋季=狩野直禎・黒川洋一・笠沙雅章・堀川哲男・岩見宏・斯波義信
- 〈資料報告〉「整庵先生母堂書簡」（山中浩之・小堀一正）
- 懐徳堂関係研究文献提要（二）（4～6）
- 重建懐徳堂と私
 - 懐徳堂あれこれ（宇野新逸・宇野要次）
 - 昭和初期に通った懐徳堂（杉村光子）
- 彙報

54号(昭和60[1985]年12月、懐徳堂記念会)

- 〈口絵〉三宅石庵考定, 三宅春楼書「懐徳堂考定中庸定本」巻頭・巻末
- 〈口絵〉福原五岳筆, 三宅春楼・中井竹山他合賛「洞庭湖図屏風」（写真提供: 大阪市立博物館）
- 〈口絵〉西村天囚影（『西村天囚伝』より転載）
- 〈口絵〉『日本宋学史』扉（『西村天囚伝』より転載）
- 懐徳堂に学ぶ（山田稔）
- 懐徳ということ（藪内数太）
- 重々建懐徳堂の提案（大久保昌一）
- 〈連載〉懐徳堂の人々（一）三宅石庵

- 陰陽の鬼神と祭祀の鬼神—無鬼論の特質をめぐって—(子安宣邦)
- 山片蟠桃と福沢諭吉—「天は人の上に人を造らず」考—(宮内徳雄)
- 針尾島の天囚(町田三郎)
- 懐徳堂に寄与した尼崎屋一族(肥田皓三)
- 船場(宮本又郎)
- 昭和 60 年懐徳堂講座講演要旨
 - 春季=都出比呂志・田中文英・宮本又郎・脇田修・本城正徳・梅溪昇
 - 秋季=神林恒道・岩城見一・出川哲郎・源高根・太田喬夫・潮江宏三・森谷宇一・吉積健・上倉庸敬・畑道也
- 懐徳堂記念講座講演題目一覧(昭和 26 年～昭和 60 年)
- 〈資料報告〉「中井竹山葬儀記録」(山中浩之・小堀一正)
- 懐徳堂関係研究文献提要(三)(7～9)
- 思い出すまま(沢美枝)
- 堂友会見学会の思い出(舟木謙一郎)
- 彙報

55 号(昭和 61[1986]年 12 月、懐徳堂記念会)

- 〈口絵〉「頼梅^隠[シ] 書簡」
- 〈口絵〉「中井蕉園貼交屏風」
- 〈口絵〉中井履軒「酔郷侯印」印影
- 徳の意味—アレーターの立場から—(当津武彦)
- 懐徳堂講座の発展(鈴木敬)
- 〈連載〉懐徳堂の人々(二)中井登庵(山中浩之)
- 含翠堂と懐徳堂(津田秀夫)
- 『懐徳堂展覧会目録』の課題(上田稔)
- 懐徳堂の書学(岸田知子)
- 竜宮童子考—異人論の視座から—(小松和彦)
- 昭和 61 年懐徳堂講座講演要旨
 - 春季=都出比呂志・子安宣邦・井上俊・野口武彦・小松和彦・M セーンニコーン・劉建華
 - 秋季=松本仁助・江川温・塚寄智・赤城昭三・谷村晃・岡部健彦
- 〈資料報告〉「頼梅^隠[シ] 書簡」
- 懐徳堂関係研究文献提要(四)(10～12)
- 懐徳堂研究の新刊紹介(脇田修)
- 懐徳堂の思い出(小柳ならみ)

- 彙報
- 『懷徳』(一号~五十号)総目次・主題別索引・執筆者索引

56号(昭和62[1987]年12月、懷徳堂記念会)

- 〈口絵〉中井竹山短冊「去年の春〜」(逆瀬家旧蔵)
- 住友家と五井蘭州と懷徳堂(宮本又次)
- 平野の歴史を行かす町づくり「含翠堂講座と連歌再興」(川口良仁)
- 〈連載〉懷徳堂の人々(三)懷徳堂の立地を支えた尼崎町界隈の町並み(矢内昭)
- 富永仲基の学問的態度—姉崎正治著『仏教聖典史論』を読んで—(森東吾)
- 中井竹山の公私観(藤本雅彦)
- 無鬼、またはフィクションとしての鬼神(小堀一正)
- 中井家と頼家(頼祺一)
- 日本人の死生観(大峯顕)
- 昭和62年懷徳堂講座講演要旨
 - 春季=大峯顕・金子晴勇・荒牧典俊・池辺義教・加茂直樹・河井徳治
 - 秋季=脇田修・島田虔次・源了円・尾藤正英・金容沃・末中哲夫
- 懷徳堂記念国際シンポジウム報告要旨
- 〈新収資料紹介〉「土橋九郎右衛門宛伊藤東涯書簡」
- 懷徳堂関係研究文献提要(五)(13~15)
- 財津愛象先生の思ひ出(丸山正三郎)
- 彙報

57号(昭和63[1988]年12月、懷徳堂記念会)

- 〈口絵〉「象紐印」(懷徳堂文庫蔵)
- 〈口絵〉伊藤東涯賛「象図」(関西大学蔵)
- 〈口絵〉「象之絵巻物」(部分)(関西大学蔵)
- 〈口絵〉玉手棠洲画、並河寒泉賛「象図」(懷徳堂文庫蔵)
- 〈口絵〉菅其翡画「象図」(肥田皓三氏象)
- 生涯学習時代の懷徳堂(若槻哲雄)
- 懷徳堂と自然科学(伴忠康)
- 懷徳堂・友の会発足後五年間を振り返って(信多純一)
- 〈連載〉懷徳堂の人々(四)同志の人々—懷徳堂を支えた五同志—(脇田修)
- 中井履軒作、象紐の印より出発して(大庭脩)
- 「物」と「豪傑」—江戸後期思想についての覚書—(平石直昭)
- 和刻本『聖諭広訓』に関する再考(陶徳民)

- 大阪の企業家と文化振興(作道洋太郎)
- 秀吉と能(天野文雄)
- 昭和 63 年懷徳堂講座講演要旨
 - 春季=作道洋太郎・天野文雄・中村孝義・若山映子・佐野善之
 - 秋季=黒川洋一・山中浩之・頼祺一・武田恒夫・肥田皓三
- 〈資料報告〉「中井齋庵・齋庵夫人・中井蕉園葬儀記録」(山中浩之・小堀一正)
- 懷徳堂関係研究文献提要(六)(16~18)
- 〈紹介〉大月明著『近世日本の儒学と洋学』(脇田修)
- 彙報

58号(平成1[1989]年12月、懷徳堂記念会)

- 〈口絵〉菊堂宛中井履軒書簡(懷徳堂文庫蔵)
- 〈口絵〉荒木吉右衛門宛中井竹山書簡(懷徳堂文庫蔵)
- 〈口絵〉中井竹山書簡(懷徳堂文庫蔵)
- 懷徳堂と地理学(矢守和彦)
- 〈連載〉懷徳堂の人々(五)五井蘭州(山中浩之)
- 〈講演記録〉菅茶山の「開元の琴」について(黒川洋一)
- 荻生徂徠の習熟論と教化論—近世教育思想試論—(辻本雅史)
- 懷徳堂文庫所蔵『史記削柿 [シ]』について(寺門日出男)
- 「崩し」と日本美(森川恵昭)
- 芸道の妙—日本の芸術表現にみられるマンダラ構造について—(井尻益郎)
- 平成元年懷徳堂講座講演要旨
 - 春季=橋本綾子・森川恵昭・松本宏輝・井尻益郎・大橋良介・中村義一
 - 秋季=脇田晴子・上野輝将・曾根ひろみ・藪田貫・落合恵美子
- 〈資料報告〉中井竹山・履軒書簡(山中浩之)
- 懷徳堂関係研究文献提要(七)(19~22)
- 彙報
- 吉永文庫目録

59号(平成2[1990]年12月、懷徳堂記念会)

- 〈口絵〉伊藤博文宛岩倉具視書簡(懷徳堂文庫所蔵)
- 懷徳堂と適塾(脇田修)
- 門前の小僧の夢(大村元宥)

- 〈連載〉懐徳堂の人々(六)中井竹山(小堀一正)
- 「鶏肋集叙」—富永仲基最後の文章—について(印藤和寛)
- 『日本春秋』の歴史意識(宮川康子)
- 中井履軒『百首贅々』—真淵批判と景樹『百首異見』への影響—(福島理子)
- 『孟子雕題』『孟子雕題略』『孟子逢原』の関係について(杉山一也)
- 六如庵慈周雜記—「西山採葦十絶句」について—(黒川洋一)
- 石山本願寺の能と狂言(天野文雄)
- 蓮如と石山本願寺
- 平成2年懐徳堂講座講演要旨
 - 春季=中井真孝・川岸宏教・上場顕雄・天野文雄・木南卓一
 - 秋季=大峯顕・谷村晃・徳川宗賢・原田平作・山村正光
- 〈資料報告〉伊藤博文宛岩倉具視書簡五通(ひろたまさき)
- 懐徳堂関係研究文献提要(八)(23~25)
- 平成元年度懐徳堂研究出版助成研究報告
- 彙報

60号(平成3[1991]年12月、懐徳堂記念会)

- 〈口絵〉川路利良書状(3月18日)(懐徳堂文庫蔵)
- 〈口絵〉川路利良書状(3月22日)(懐徳堂文庫蔵)
- 〈口絵〉川路利良書状(3月23日)(懐徳堂文庫蔵)
- 〈口絵〉川路利良書状(4月30日)(懐徳堂文庫蔵)
- 〈口絵〉川路利良書状(5月5日)(懐徳堂文庫蔵)
- 〈口絵〉川路利良書状(6月4日)(懐徳堂文庫蔵)
- 懐徳堂追想(伊部恭之助)
- 〈連載〉懐徳堂の人々(七)中井履軒(山中浩之)
- 近世大坂の文化的環境
- 懐徳親知—広瀬蒙斎『有方録』抄—(水田紀久)
- 『戦国策雕題』(中井履軒撰)と近藤南州と(寺門日出男)
- 中井履軒撰の『三国志雕題』と『三国志雕題草本』とについて(矢羽野隆男)
- 十八世紀後期における「解剖」の言説の位相(松村浩二)
- 加藤景範著『国雅管窺』について(管宗次)
- 西村天因と張之洞の『勸学篇』(陶徳民)
- 季節のコスモロジー(大峯顕)
- 懐徳堂のことなど(中尾堅一郎)
- 平成3年懐徳堂講座講演要旨

- 春季=脇田修・川北稔・中里成章・呉金成・浜島敦俊
- 秋季=藤居治彦・肥塚隆・渡辺昌美・前田卓・信多純一
- 〈資料報告〉川路利良書状(八通)(時野谷勝)
- 懐徳堂関係研究文献提要(九)(24~26)
- 平成2年度懐徳堂研究出版助成研究報告
- 彙報

61号(平成5[1993]年1月、懐徳堂記念会)

- 〈口絵〉藤井藍田書簡(安政5年8月24日)(懐徳堂文庫蔵)
- 〈口絵〉藤井藍田書簡(安政6年7月20日)(懐徳堂文庫蔵)
- 〈口絵〉藤井藍田書簡(年次不明7月27日)(懐徳堂文庫蔵)
- 〈口絵〉藤井藍田書簡(安政6年11月9日)(懐徳堂文庫蔵)
- 〈口絵〉藤井藍田書簡(万延元年か)(懐徳堂文庫蔵)
- 〈口絵〉藤井藍田書簡(安政5年正月12日)(懐徳堂文庫蔵)
- 学問の源流(金森順次郎)
- 〈連載〉懐徳堂の人々(八)富永仲基(宮川康子)
- 『喪祭私説』における「家礼」受容—徳川儒教における仏教批判の一方—(高橋文博)
- 『論語徴』のなかの「孝」(田尻祐一郎)
- 中井履軒撰『古文真宝雕題』について(南昌宏)
- 懐徳堂堂友会とそれを支えた人びと—私の思い出から(梅溪昇)—
- 〈新刊紹介〉テツオ・ナジタ著『懐徳堂—十八世紀日本の「徳」の諸相—』(山中浩之)
- 〈重建懐徳堂回顧〉久保重先生と懐徳堂(岸田知子)
- 平成4年度懐徳堂講座講演要旨
 - 春季=山崎正和・柏木隆郎・中村元保・田仲一成・石田久
 - 秋季=脇田修・出原隆俊・上野洋三・土田衛・信多純一
- 〈資料報告〉河野鉄兜宛藤井藍田書簡六通(小堀一正)
- 懐徳堂関係研究文献提要(十)(27~30)
- 平成3年度懐徳堂研究出版助成研究報告
- 彙報

62号(平成6[1994]年1月、懐徳堂記念会)

- 〈口絵〉広瀬旭莊書簡(安政4年11月21日)
- 〈口絵〉広瀬旭莊書簡(安政4年閏5月11日)
- 〈口絵〉広瀬旭莊書簡(安政2年10月11日)
- 〈口絵〉広瀬旭莊書簡(安政4年11月2日)

- 〈口絵〉 広瀬旭莊書簡(嘉永5年6月8日)
- 徳を懐う(塚崙智)
- 〈連載〉 懐徳堂の人々(九)山片蟠桃(宮内徳雄)
- 富永仲基『三器』度考の復元—『楽律考』の一考察—(印藤和寛)
- 中井履軒『論語逢原』の位置(宇野田尚哉)
- 中井履軒『中庸』関連諸本の考察(南昌宏)
- 天人関係の語りに見る二つの朱子学—浅見綱斎と五井蘭州—(樋口浩造)
- 『三体詩幻雲抄』に見える和歌記述(中本大)
- 平成5年懐徳堂講座講演要旨
 - 春季=木村健次・玉井璋・渡辺裕・鷺田清一・坪内稔典
 - 秋季=河内厚郎・角山栄・真田信治・芝村篤樹・中岡哲郎
- 〈資料報告〉 河野鉄兜宛広瀬旭莊書簡五通(新稲法子)
- 〈紹介〉 『懐徳堂—浪華の学問所』
- 懐徳堂関係研究文献提要(十一)(31~33)
- シンポジウム「近世大坂の都市と文化」を終えて(脇田修)
- 平成4年度懐徳堂研究出版助成研究報告
- 彙報

63号(平成7[1995]年1月、懐徳堂記念会)

- 〈口絵〉 江馬細香宛梁川星巖書簡
- 〈口絵〉 江馬細香宛小原鉄心書簡
- 〈口絵〉 河野鉄兜宛梁川星巖書簡
- 徳について(藤井治彦)
- 〈連載〉 懐徳堂の人々(十)中井竹山と木村兼葭堂(水田紀久)
- 「川路聖謨遺書」所蔵の「言志後録評」(荻生茂博)
- 詠史の展開—『野史詠』と『日本楽府』—(揖斐高)
- 『都繁盛記』考—「劇場」の章に関して—(新稲法子)
- 重野安繹と近代大阪の漢学(陶徳民)
- 平成6年懐徳堂講座講演要旨
 - 春季=西村幸次郎・脇田晴子・出原隆俊・森明子・井上忠司
 - 秋季=金坂清則・山田敬三・銭本健二・村形明子・宮島久雄
- 〈資料報告〉 梁川星巖・小原鉄心書簡(鷺原友良)
- 〈資料報告〉 河野鉄兜宛「広瀬旭莊書簡」訂正と補足(新稲法子)
- 懐徳堂関係研究文献提要(十二)(34~35)
- 平成5年度懐徳堂研究出版助成研究報告

- 彙報

64号(平成8[1996]年1月、懷徳堂記念会)

- 〈口絵〉西山拙斎宛菅茶山書簡(懷徳堂文庫蔵)
- 〈口絵〉菅茶山詩画軸二種(懷徳堂文庫蔵)
- 学問所と芝居小屋
- 〈連載〉懷徳堂の人々(十一)蟠桃東遊(水田紀久)
- 天明の飢饉前期の大坂—頼山陽の母・梅圃[シ]の書状を中心に—(頼祺一)
- 杳かなる日の懷徳堂(沢美枝)
- 中井履軒の『論語』における諸注釈書について(神林裕子)
- 《命題》から《発話》へ—十八世紀日本における《儒学史》の成立と儒家的知の変容(宇野田尚哉)—
- 古九九と木簡、笄子と算具の話(山路実)
- 人形振りの一系譜—「琴貢」の岩永—(沢井万七美)
- 中島子玉の半径(ロバート・キャンベル)
- 平成7年懷徳堂講座講演要旨
 - 春季=鳴海邦碩・佐々木幹郎・倉光修・高橋哲・杉万俊夫・脇田修
 - 秋季=子安宣邦・山中浩之・辻本雅史・宮川康子・中村春作
- 〈資料報告〉菅茶山書簡、詩画軸(福島理子)
- 平成6年度懷徳堂研究出版助成研究報告
- 懷徳堂関係研究文献提要(十三)(36~37)
- 彙報

65号(平成9[1997]年1月、懷徳堂記念会)

- 〈口絵〉伊沢深蔵宛皆川淇園書簡(懷徳堂文庫蔵)
- 〈口絵〉皆川淇園書簡(懷徳堂文庫蔵)
- 〈口絵〉皆川淇園書軸(懷徳堂文庫蔵)
- 〈口絵〉龍草廬書軸(懷徳堂文庫蔵)
- 大阪大学の源流としての懷徳堂(松岡博)
- 〈連載〉懷徳堂の人々(十二)三年無改—五井蘭州と雨森芳洲—(水田紀久)
- 戦後の懷徳堂と吉田北山先生(奥畑昇)
- 含翠堂の神道観と古義学—足代弘道と土橋宗信を中心に—(陶徳民)
- 中井履軒の『周易』諸注釈書および関連諸本(神林裕子)
- 劉向の思想とその時代(斎木哲郎)
- 西横堀新築地の諸芸能—惣年寄・永瀬の『御用留』を中心に—(中川桂)

- 平成 8 年懷徳堂講座講演要旨
 - 春季=都出比呂志・藤川隆男・肥塚隆・桃木至郎・山口修
 - 秋季=奥平俊六・狩野博幸・冷泉為人・田仲敏雄・木村重圭
- 〈資料報告〉皆川淇園と龍草廬の書(福島理子)
- 平成 7 年度懷徳堂研究出版助成研究報告
- 懷徳堂関係研究文献提要(十四)(38~40)
- (財)懷徳堂記念会会員名簿
- 彙報
- 財団法人懷徳堂記念会と懷徳堂友の会の一体化について(会告)

66 号(平成 10[1998]年 1 月、懷徳堂記念会)

- 〈口絵〉中条若処(温恭)の碑(写真提供:番匠正男氏)
- 〈口絵〉『津国遊覧狂歌集』上冊 18 丁裏・19 丁表, 上冊 37 丁裏(茶梅亭文庫所蔵)
- 〈口絵〉広瀬旭莊書軸(懷徳堂文庫所蔵)
- イギリスに「懷徳堂」はあったか(川北稔)
- 〈連載〉懷徳堂の人々(十三)早野仰齋・反求・思齋
- 今橋学校(中野真作)
- 中条清太郎(号若処・温恭)先生の碑と墓を尋ね拓本して(番匠正男)
- 幕末期における山片家と懷徳堂—四水館をめぐる—(管宗次)
- 中井履軒撰『三国志雕題草本』正文附解説(蜀篇)—履軒における『三国志』理解の資料として—(矢羽野隆男)
- 中井履軒『春秋左氏伝』関連諸本の考察(古賀芳枝)
- 『管見記』紙背の『文集』について—解説と翻字—(神鷹徳治)
- 「山片蟠桃」補遺(宮内徳雄)
- 平成 9 年懷徳堂講座講演要旨
 - 春季=門田守人・浅野遼二・大村英昭・中岡成文・森田俊照
 - 秋季=加地伸行・大形徹・榎本文雄・平雅行・中村生雄
- 〈資料報告〉広瀬旭莊の詩軸(鷲原知良)
- 平成 8 年度懷徳堂研究出版助成研究報告
- 懷徳堂関係研究文献提要(十五)(41~46)
- (財)懷徳堂記念会会員名簿
- 彙報

67 号(平成 11[1999]年 1 月、懷徳堂記念会)

- 〈口絵〉五井蘭州筆「むすめにあたふる朝かほのことは」書幅(懷徳堂文庫蔵)

- 現代の懷徳堂(作道洋太郎)
- 人脈経路—中井竹山父子と安東初山—(水田紀久)
- 中条若処の碑について(岸田知子)
- 掃苔雑感(村田隆志)
- 甦る「声」—娘義太夫と蓄音機の出会い—(広井栄子)
- 構成される「日本婦人」と骨盤への視線(金津日出美)
- 故宮博物院蔵杜牧「張好好詩」本文小考(森岡ゆかり)
- 平成10年懷徳堂講座講演要旨
 - 春季=菊川徳之助・伊井春樹・中西進・上倉庸敬・富山一郎
 - 秋季=ひろたまさき・脇田修・森田洋司・河井隼雄
- 〈資料報告〉五井蘭州筆「むすめにあたふる朝かほのことは」書幅(竹腰礼子)
- 〈資料報告〉『懷徳』65号 皆川淇園書簡 訂正(福島理子)
- 平成9年度懷徳堂研究出版助成研究報告
- 懷徳堂関係研究文献提要(十六)(47~50)
- (財)懷徳堂記念会会員名簿
- 彙報

68号(平成12[2000]年3月、懷徳堂記念会)

- 〈口絵〉中井竹山詩箋・中井蕉園詩箋(水田紀久氏蔵, 佐瀬良幸氏撮)
- 功德の廻向(肥塚隆)
- 懷徳惜別(水田紀久)
- 中井木菟麻呂の水哉館再興計画—昭和初年の場合—(北崎豊二)
- 唱歌による身体の国民化—伊沢修二の教育思想の一側面—(奥中康人)
- 〈懷徳堂友の会投稿論文〉懷徳堂と尾池桐陽一門の人達(瀬戸謙吾)
- 平成11年懷徳堂講座講演要旨
 - 春季=神林恒道・浅見洋二・川森博司・中川真
 - 秋季=日下翠・井波律子・赤松紀彦・中鉢雅量
- 平成10年度懷徳堂研究出版助成研究報告
- 懷徳堂関係研究文献提要(十七)(51~54)
- (財)懷徳堂記念会会員名簿
- 彙報

69号(平成13[2001]年1月、懷徳堂記念会)

- 〈口絵〉泉勇八郎宛亀田鵬齋書簡(懷徳堂文庫蔵)
- 大阪大学附属図書館における貴重資料保存と懷徳堂(西原浩)

- 尼崎の儒医西村谿園と懷徳堂(管宗二)
- 懷徳堂文庫蔵『李義山詩疏』の選詩態度(森岡ゆかり)
- 古文辞流詩学の残照(大庭卓也)
- 「詩」の行方—寛政改革後の述斎と庭園—(石原隆好)
- 中国東北「二人転」の成立と継承過程にみる文化的重層性について(金士友)
- 中条若処と並河天民(井上了)
- 『天楽楼書籍遺蔵書目』について—懷徳堂資料のデジタルアーカイブ化に向けて—(寺門日出男・湯浅邦弘・神林裕子・井上了)
- 〈懷徳堂友の会投稿論文〉 吳策(北渚)が七言絶句を贈った藤翁父子三代(瀬戸謙吾)
- 平成 12 年懷徳堂講座講演要旨
 - 春季=杉田繁治・金水敏・真栄平房昭・水谷雅彦
 - 秋季=水内俊雄・初田亨・島津忠夫・小松和彦
- 〈資料報告〉 泉勇八郎宛亀田鵬斎書簡(石原隆好)
- 平成 11 年度懷徳堂研究出版助成研究報告
- 懷徳堂関係研究文献提要(十八)(55~58)
- 近年の懷徳堂蒐集資料(竹腰礼子)
- 故 重田幸子主事を悼む
 - 追憶重田さんのこと(烏野守)
 - 重田さんへの哀悼(伊井春樹)
 - 重田幸子さんのこと(中村元保)
 - 重田さんとの冗談の夢(加地伸行)
 - 重田さんのこと(川北稔)
 - 鋭利なやさしさ(時岡禎一郎)
 - 重田さんを忍んで(山中昌宏)
 - 重田幸子さんとの思い出(石村そよ子)
 - チヨッキとスラックス(浅野寿美)
 - 重田さん追悼(子安宣邦)
 - 重田さんを偲んで(岸田知子)
 - 重田さんの思い出(宮川康子)
 - 重田さんと懷徳堂(山中浩之)
 - 誄詞(沢美枝)
- (財)懷徳堂記念会会員名簿
- 彙報

70号(平成14[2002]年3月、懷徳堂記念会)

- 〈口絵〉古賀精里宛尾藤二洲書簡(懷徳堂文庫蔵)
- 〈口絵〉懷徳堂データベーストップ画面
- 〈口絵〉懷徳堂データベース検索結果画面(『非物篇』の項)
- 〈口絵〉「懷徳堂電子的博物館」メニュー画面
- 〈口絵〉懷徳堂 CG(講堂床の間から東房を見る)
- 伊部恭之助理事長を悼む(岸本忠三)
- 中井竹山・履軒先生と山片蟠桃(有坂隆道)
- 懷徳堂文庫所蔵『履軒弊帚』諸本について(池田光子)
- 刊本『小学雕題』訂補(井上了)
- 懷徳堂はよみがえった—友の会発足の頃—(烏野守)
- 古典籍の組版・印字について(金水敏)
- 特集・大阪大学創立 70 周年記念事業「バーチャル適塾・懷徳堂」
 - 「適塾・懷徳堂」のデジタル化の経緯とその意義(西尾章治郎)
 - 懷徳堂データベースの構築—全体構造と今後の課題—(湯浅邦弘)
 - 「懷徳堂事典」の作成(竹田健二)
 - 『天図』の回転について(神林裕子)
 - 書誌情報の収集(杉山一也)
 - 平成 12 年度実見調査における諸発見(矢羽野隆男)
 - 「七経逢原笈蓋表書」について(寺門日出男)
 - 懷徳堂文庫所蔵文献の書名について(藤居岳人)
 - 特殊文字などの処理について(井上了)
 - CG(コンピュータグラフィックス)による「バーチャル懷徳堂」製作について(凸版印刷株式会社)
- 平成 13 年懷徳堂講座講演要旨
 - 春季=村田修三・仁木宏・村田路人・北川央
 - 秋季=松浦清・菅谷富夫・橋爪節也・中谷伸生
- 〈資料報告〉古賀精里宛尾藤二洲書簡(石原隆好)
- 平成 12 年度懷徳堂研究出版助成研究報告
- 懷徳堂関係研究文献提要(十九)
- 近年の懷徳堂蒐集資料(竹腰礼子)
- 大阪大学懷徳堂文庫のなりたちと蒐集の経緯(竹腰礼子)
- (財)懷徳堂記念会会員名簿
- 彙報

71 号(平成 15[2003]年 1 月、懷徳堂記念会)

- 〈口絵〉懐徳堂文庫電子図書目録
- 〈巻頭言〉「物質上の資本」と「無形の資本」(河上誓作)
- 学術研究
 - ニコライ・ネフスキーの研究協力者 ウォンギ・ヤタユンガナ(日本名、矢田一生)について(小林方佳・森岡ゆかり・塚本善也)
 - 江戸護園派と彦根藩士—徂徠・南郭和文牘三首ほか—(宇野田尚哉)
 - Diarium Andreae Ly—中国人司祭のラテン語日記とその背景—(瀧千春)
 - 二つの「十無詩」—儒者・中井竹山の詩作と感性—(上野洋子)
 - 大阪大学蔵「並河寒泉文庫」簡介(井上了)
 - 懐徳堂関係研究文献提要(二十)
- 事業報告・会員寄稿
 - 重建懐徳堂を語る会記録
 - 懐徳堂春秋記念講座体験記(岡省三)
 - 中井蕉園妻墓石の保存修復を終えて(雨森久晃・藤原千沙)
 - インターネットで学ぶ懐徳堂(湯浅邦弘)
 - 平成13年度懐徳堂研究出版助成報告
 - 平成14年度懐徳堂春秋記念講座要旨
- 事務連絡
 - 会員名簿
 - 彙報

72号(平成16[2004]年1月、懐徳堂記念会)

- 〈口絵〉「大坂町絵図」大阪人権博物館蔵
- 〈口絵〉電子懐徳堂考
- 〈巻頭言〉懐徳堂の精神を現代に(鷲田清一)
- 学術研究
 - 上方洋楽史考—第四師団軍楽隊の誕生—(鎌谷静男)
 - 刊本以外の大坂図「大坂三郷町絵図」に関する書誌学的検討(渡辺理絵)
 - 〔資料紹介〕宮内庁書陵部蔵『懐徳堂紀年』(竹田健二)
 - 懐徳堂学派による『論語集注』擁護の一例—憲問篇「陳成子弑簡公」条引胡氏説を例として—(井上了)
 - 経解上に現れたる「孝」における「愛」と「敬」との関係(佐野大介)
 - 〔書評〕『中国四大奇書の世界』(井上泰山)
 - 懐徳堂関係研究文献提要(二十一)
- 事業報告・会員寄稿

- 懐徳堂古典講座という市民講座(齋藤實)
- 小沢種春(飯塚修三)
- 電子懐徳堂考の制作(湯浅邦弘)
- 『懐徳』第七一号「重建懐徳堂を語る会記録」について(『懐徳』編集委員会)
- 平成14年度懐徳堂研究出版助成報告
- 平成15年度懐徳堂春秋記念講座要旨
- 事務連絡
 - 会員名簿
 - 彙報

73号(平成17[2005]年1月、懐徳堂記念会)

- 〈口絵〉「懐徳堂墨」
- 〈口絵〉「懐徳堂墨型」
- 〈巻頭言〉フランス山峡の『雨月物語』(柏木隆雄)
- 学術研究
 - 奈良 大坂 墨の道—古梅園蔵懐徳堂墨型について—(湯浅邦弘)
 - 上方洋楽史考—唱歌の系譜—(鎌谷静男)
 - 中井履軒の性論と氣稟論と—『論語逢原』を中心に—(藤居岳人)
 - 中井履軒の『春秋』観(井上了)
 - 『蒙養篇』諸本間の異同について 附交合記(佐野大介)
 - 懐徳堂関係研究文献提要(二十二)
- 事業報告・会員寄稿
 - 岩橋善兵衛の「平天儀」・「平天儀図解」と中井履軒の「天図」・「天体図解」(飯塚修三)
 - 私の学問所・懐徳堂の思い出と懐徳堂への思い(伊藤賢一)
 - 電子懐徳堂考の制作(湯浅邦弘)
 - 懐徳堂アーカイブ講座懇談会記録(『懐徳』編集委員会)
 - 高木亮子氏蔵中井終子関係資料の受贈について
 - 平成15年度懐徳堂研究出版助成報告
 - 平成16年度懐徳堂春秋記念講座要旨
 - 平成16年度懐徳堂法人講座要旨
- 事務連絡
 - 会員名簿
 - 彙報

74号(平成18[2006]年1月、懷徳堂記念会)

- 〈口絵〉「越俎弄筆」
- 〈巻頭言〉懷徳堂記念会理事長に就任して(西川善文)
- 学術研究
 - 上方洋楽史考—タンホイザー関西初演—(鎌谷静男)
 - 中井履軒の性善説—『論語逢原』に見える「習」「弊」の語を中心に—(藤居岳人)
 - 和蘭全軀内外分合図と越俎弄筆(飯塚修三)
 - 中井履軒『越俎弄筆』に見える門脈とゲール管について(井上了)
 - 懷徳堂関係研究文献提要(二十三)
- 事業報告・会員寄稿
 - 懷徳堂に会って(安田善直)
 - 懷徳堂古典講座懇親の会
 - 懷徳堂旧趾碑の保存修復成る(坪井一弘)
 - 懷徳堂モニター
 - 澤美枝様追悼の辞
 - 平成16年度懷徳堂研究出版助成報告
 - 平成17年度懷徳堂春秋記念講座要旨
 - 平成17年度懷徳堂法人講座要旨
- 事務連絡
 - 会員名簿
 - 彙報

75号(平成19[2007]年1月、懷徳堂記念会)

- 〈口絵〉「万年先生緩歩帖」
- 〈巻頭言〉ユビキタス社会の実現に向けて(宮原秀夫)
- 学術研究
 - 懷徳堂における唐様書道の特色—中井竹山の書論を中心に—(福田哲之)
 - 懷徳堂及びその周辺における経済思想の成り立ち—「利」をめぐる議論を中心に—(ヤン・シーコラ)
 - 十八世紀の国産顕微鏡—中井履軒「顕微鏡記」について—(井上了)
 - 懷徳堂関係研究文献提要(二十四)
- 事業報告・会員寄稿
 - 大阪の浮世絵師—養亭芳瀧—(荻田清)
 - 第四回懷徳堂アーカイブ講座について(徳山孝子)
 - 私と懷徳堂(井上宏)

- 伝統工芸から近代技術へ—日本特許第一号発明者の軌跡—(猪原勇)
- 大槻盤溪宅に掲げられた中井履軒の扁額(飯塚修三)
- 平成 17 年度懐徳堂研究出版助成報告
- 平成 18 年度懐徳堂春秋記念講座要旨
- 平成 18 年度懐徳堂アーカイブ講座要旨
- 第三回懐徳堂法人講座報告(湯浅邦弘)
- 事務連絡
 - 会員名簿
 - 彙報

76号(平成20[2008]年1月、懐徳堂記念会)

- 〈口絵〉「懐徳堂記念会創立100周年記念事業 web ページ」
- 〈巻頭言〉温故知新のとき(天野文雄)
- 学術研究
 - 平安朝の漢文—諷誦文と『少将滋幹の母』—(後藤昭雄)
 - 懐徳堂における商利肯定論の周辺(井上了)
 - 吉田北山の北京留学(釜田啓市)
 - 懐徳堂関係研究文献提要(二十五)
- 事業報告・会員寄稿
 - 森の中の懐徳堂(湯浅邦弘)
 - 愛日文庫蔵「魯西亜漂流之記」について(飯塚修三)
 - 懐徳堂の講座によせて(松本喜久雄)
 - 平成 18 年度懐徳堂研究出版助成報告
 - 平成 19 年度懐徳堂春秋記念講座要旨
 - 第四回懐徳堂法人講座報告
- 事務連絡
 - 会員名簿
 - 彙報
 - 財団運営関係資料

77号(平成21[2009]年1月、懐徳堂記念会)

- 〈口絵〉「鈴鹿文庫本『逸史』」
- 〈巻頭言〉懐徳堂についての比較史の試み(江川温)
- 学術研究
 - 懐徳堂の狂者たち(中野三敏)

- 貝原益軒の学問世界—近世の学問と民衆—(辻本雅史)
- 養生思想の転換点—中井履軒『老婆心』の周辺—(池田光子)
- 北摂池田の漢文結社「呉山社」の活動(釜田啓市)
- 書評『懐徳堂研究』(大形徹)
- 鈴鹿文庫本『逸史』の紹介(近衛典子)
- 懐徳堂関係研究文献提要(二十六)
- 事業報告・会員寄稿
 - 学び続ける喜び—懐徳堂古典講座と出会って(高田明日香)
 - 新しい地平を拓く—音楽と建築の先駆者たち—(猪原勇)
 - 五井蘭洲の墓石保存処理について(池之上晃敏)
 - 平成 19 年度懐徳堂研究出版助成報告
 - 平成 20 年度懐徳堂春秋記念講座要旨
- 事務連絡
 - 会員名簿
 - 彙報
 - 財団運営関係資料

76号(平成20[2008]年1月、懐徳堂記念会)

- 〈口絵〉「懐徳堂記念会創立100周年記念事業 web ページ」
- 〈巻頭言〉温故知新のとき(天野文雄)
- 学術研究
 - 平安朝の漢文—諷誦文と『少将滋幹の母』—(後藤昭雄)
 - 懐徳堂における商利肯定論の周辺(井上了)
 - 吉田北山の北京留学(釜田啓市)
 - 懐徳堂関係研究文献提要(二十五)
- 事業報告・会員寄稿
 - 森の中の懐徳堂(湯浅邦弘)
 - 愛日文庫蔵「魯西亜漂流之記」について(飯塚修三)
 - 懐徳堂の講座によせて(松本喜久雄)
 - 平成 18 年度懐徳堂研究出版助成報告
 - 平成 19 年度懐徳堂春秋記念講座要旨
 - 第四回懐徳堂法人講座報告
- 事務連絡
 - 会員名簿
 - 彙報

- 財団運営関係資料

78号(平成22[2010]年1月、懷徳堂記念会)

- 〈口絵〉「懷徳堂史跡マップ」
- 〈巻頭言〉宇宙論と宗教観—時間は無限に続いているのだろうか—(高杉英一)
- 学術研究
 - 五井蘭洲の性論—中井履軒の性論との関連について—(藤居岳人)
 - 三木家文書『華布囊』とその思想動向—その歴史観を中心に—(黒田秀教)
 - 懷徳堂関係研究文献提要(二十七)
- 事業報告・会員寄稿
 - 懷徳堂と私(木全千裕)
 - 中井履軒・中井蕉園・中井碩果の墓石保存処理について(池之上晃敏)
 - 平成20年度懷徳堂研究出版助成報告
 - 平成21年度懷徳堂春秋記念講座要旨
- 事務連絡
 - 会員名簿
 - 彙報
 - 財団運営関係資料

79号(平成23[2011]年1月、懷徳堂記念会)

- 〈口絵〉「懷徳堂記念会創立100周年記念映像」
- 〈巻頭言〉しろうと談義”八十年代中国の技術水準”(片山剛)
- 学術研究
 - 中井竹山・中井履軒の贋作書画について(寺門日出男)
 - 二つの『論語逢原』—懷徳堂記念会と中井木菟麻呂—(竹田健二)
 - 中井履軒『服忌図』について—資料的検討を中心に—(池田光子)
 - 書評：竹田健二著『市民大学の誕生—大坂学問所懷徳堂の再興』(飯塚一幸)
 - 懷徳堂関係研究文献提要(二十八)
- 事業報告・会員寄稿
 - 知徳の遺産 世紀を超えて—懷徳堂記念会創立百周年記念映像の制作—(湯浅邦弘)
 - 平成21年度懷徳堂研究出版助成報告
 - 平成22年度懷徳堂春秋記念講座要旨
- 事務連絡
 - 会員名簿
 - 彙報

- 懷徳堂記念会創立一〇〇周年記念事業 賛助者一覧
- 財団運営関係資料

80号(平成24[2012]年1月、懷徳堂記念会)

- 〈口絵〉「懷徳堂記念会創立100周年記念シンポジウム」「懷徳堂展」
- 〈巻頭言〉懷徳堂記念会との三十年(加地伸行)
- 一〇〇周年記念事業特集
 - 懷徳堂記念会創立一〇〇周年記念シンポジウム記録
 - 懷徳堂記念会諸活動の記録
 - 『懷徳堂記念会会務報告』『懷徳堂一覧』『懷徳堂要覧』紹介(池田光子)
 - 草創期の財団法人懷徳堂記念会(池田光子)
 - 『懷徳』(五十一号~七十九号)総目次(金城未来)
 - 『懷徳堂関係研究文献提要』(五十二号~七十九号)一覧(金城未来)
 - 懷徳堂記念会創立一〇〇周年記念事業一覧
 - 懷徳堂記念会創立一〇〇周年記念事業賛助者一覧
- 事業報告
 - 平成22年度懷徳堂研究出版助成報告
 - 平成23年度懷徳堂春秋記念講座要旨
 - 第五回懷徳堂法人講座
- 事務連絡
 - 会員名簿
 - 彙報
 - 編集後記(飯倉洋一)
 - 財団運営関係資料

81号(平成25[2013]年1月、懷徳堂記念会)

- 〈口絵〉「中之島図書館蔵『古今通』」
- 〈巻頭言〉22世紀に輝く(平野俊夫)
- 学術研究
 - 蘭洲の和学—『古今通』をめぐって—(西田正宏)
 - 山片蟠桃と升屋山片家と愛日文庫(岸田知子)
 - 『環湖帖』の旅を読む—江戸時代の大坂文人の琵琶湖行—(湯城吉信)
 - 〔書評〕田世民著『近世日本における儒礼受容の研究』(黒田秀教)
 - 懷徳堂関係研究文献提要(二十九)
- 事業報告

- 平成 23 年度懷徳堂研究出版助成報告
- 平成 24 年度懷徳堂春秋記念講座要旨
- 事務連絡
 - 彙報
 - 一〇〇周年記念事業報告

82 号(平成 26[2014]年 1 月、懷徳堂記念会)

- 〈口絵〉「並河寒泉翁像」「仲津山陵考」
- 〈巻頭言〉遠足の効用—芸術祭と社会学連携(永田靖)
- 学研究
 - 並河寒泉の陵墓調査—幕末懷徳堂教授の活動—(矢羽野隆男)
 - 『大正徳行録』に表れた孝子・節婦・奇特(佐野大介)
 - 眼中に歴歴としてヒン(山+いのこ)風を見る—陸游の詩にうたわれた楽土としての農村—(浅見洋二)
 - 懷徳堂関係研究文献提要(三十)
- 事業報告
 - 平成 24 年度懷徳堂研究出版助成報告
 - 平成 25 年度懷徳堂春秋記念講座要旨
- 事務連絡
 - 彙報